



男女がともに参画できる社会の実現を目指して

第41号

2019.9

シリーズ **12** **今、輝く人**

**夢を追う人
それを応援する人**

目次

- ・今、輝く人
 - 「おりがみに魅せられて」……………1
 - 「陶芸がはぐくんだ縁」……………2
 - 「人とつながる若者たちを応援」……………3
- ・事業報告、今後の事業予定 ほか……………4
- ・職場でのハラスメント防止強化 ほか……………5
- ・男女共同参画推進団体登録 ほか……………6
- ・編集後記……………6



古代蓮の里タワー

**おりがみに
魅せられて**

桑名の千羽鶴との
衝撃的な出会い

子どもから高齢者まで
折り紙の知育効果

一枚の紙から折り出される桑名の千羽鶴に魅了され、おりがみの虜になって15年。郷土博物館での子ども向けのおりがみ体験・公民館の講座などに関わり、ますますおりがみに夢中になっていきました。

夢中になっておりがみで遊んでいる子どもたちの姿を見るたびに続けられてきたおりがみは、思ったより思っています。年配の方からは「脳のトレーニングになります。余暇を有意義に過ごせるようになりました。」との声を頂き励みになっています。

そして日本折紙協会講師認定書を取得。いつしか講師の道を歩んでいました。



講習会風景



折り紙講師
村松 尚子さん

※掲載写真は先生の作品

今年も子ども教室や公民館講座などでの出会いにワクワクしています。



陶芸が はぐくんだ縁

★流れに任せていたら
陶芸の道を歩いていた。



窯元〔陶遊民〕
陶芸家 木元民代さん

陶芸との出会い

40代でいずれ子どもが自立し、一人になる時がくることを考え、今のうちに何か趣味を見つけておこうと思いました。

いろいろ探している中で、食器を見るのが好きだったことから陶芸にたどりつきました。49歳の遅いスタートでした。

家族の一言

大正生まれの母が生前よく言っていたのが、「誰のものでもない自分。欲張らず、欲張らず。」でした。そして、私が悩んでいると「今より悪くなることはない。大丈夫、大丈夫。」と本当に頼もしい言葉だったと今でもふと思い出します。

今思うと、この「誰のものでもない自分」という言葉が困難にあたった時の「逃げない私」を支えてくれたような気がします。

先生の一言

保険会社に勤務しながら土日は隣の陶芸教室に通いました。

10年程そんな生活が続いたある日、いずれば



木元さんの作品

自分の工房を開きたいと先生に話したところ、「いずれはと思っているなら今やいなさい」と背中を押されました。

勇気を出して窯を置き、名前の「民」の文字を入れた「陶遊民」を開いたのです。

病で身にしみた友情

知り合いに焼き物を教えたり、公民館などの陶芸教室の講師を頼まれたりするようになりました。



陶遊民窯の前で

これで最後まで周りを頼らずに一人暮らしができると思っていた矢先に病が見つかりました。とまどっている私に幼なじみの友人たちが手を差し伸べてくれました。

往復2時間かかる病院へ3人が交代で付き添ってくれたのです。本当に有難かったです。車中での友人とのおしゃべりは、病気の不安や体調の悪さなど忘れさせてくれました。

今だからこそ分かること

これまで苦労もありましたが、その全てが今の私の陶芸に生き、作品にも深みが生まれたように感じます。たくさんの応援を頂いた今だからこそ分かることがあります。

前向きに自分にはじけない生き方をして、手を差し伸べてくれる人には素直に甘え、必要とされたときは手を差し伸べたいと思います。



陶芸教室

★ものつくりをする
若者たちのお母さん



高山景子さん

両親が遺してくれた
建物で・・・

ものつくりをしている若者たちがいることを知り、医師であった父が遺してくれた病棟を提供しています。

緑あふれる庭に面した部屋は、集中して制作に没頭できるような空間です。

現在、布花・真鍮アクセサリー、バッグの創作、油絵、音楽などいろいろなジャンルの若者がひとつ屋根の下で活動しています。

いつでも応援
しているから

私は夢を追う若者をお手伝いしたいと思っています。「時を逃がすな。今が大事。若者たちには勇気をだして前に進んでほしい。」と願っています。

あたたかい
お節介

何でも話せる人が近くにいることは幸せなことです。時には食事をしながらおしゃべりもしています。

高山さんはあたたかい心で応援してくれるお母さんです。

「○○ちゃん」と声をかける高山さんのまなざしは優しさにあふれていました。



シェアハウス

人とつながる 若者たちを応援

★夢を追う
若者たちの兄貴



平川貴之さん

フリーター時代

次々に職を変え、いわゆるフリーターだった12年間。自分の居場所を見つけられなかった。

人付き合いは下手だが、人は好きだった。今思うに大事な12年間だった。

好きなことを見つけた

食えることが好きで料理が好きで、それが高じて平成20年からパン屋になった。パンの具材は季節により、直接農家から仕入れ、ジャムや餡

を手作りしている。準備に時間がかかるため週四日だけ店を開けている。こちらの思い通りのパンはなかなかできないけれど、パンを作るのはおもしろい。自分のやりたいことに、やっとめぐりあえた。

若者たちを応援

たくさんの仕事の経験が、今の自分のスタイルに生かせていると思う。閉店後は若者たちが集まり、それぞれ自由に自己表現している。私は時々食事を作り提供している。平川さんは若者たちの良き理解者で兄貴のような存在だ。



◆高山さんも平川さんも若者たちに居場所を作り、ほどよい距離感で見守っていました。

事業報告

親子料理講座「デコ巻き寿司づくり」

7月27日(土)宮川たま枝先生(デコ巻きずしマイスター認定講師)の指導のもと、10組22人の親子が可愛らしいデコ巻き寿司に挑戦しました。

パパたちも参加し、和気あいあいとした雰囲気の中で、親子で試行錯誤しながら作りました。切って初めて目にした出来上がりに歓声が上がリ、調理後は皆で美味しくいただきました。

参加者の声

- *楽しく作れて、綺麗に出来て良かったです。
- *難しいイメージでしたが、とても可愛く上手に出来上がりました。子供たちも「可愛い～、食べるのがもったいない!」とご満悦でした。



メニュー
・小梅
・タヌキ



今後の事業予定

女性活躍推進事業

◎ビジネスカアップセミナー

女優として高い評価される表現力・存在力を生かした異色の講師が、「緊張の克服」をテーマにどんな職業でもどんな場面でも使える「表現力」を鍛えるための意識のポイントやトレーニング法をお伝えします。

自分の想いを相手に届けるために、声や身体を使って生き生きと表現しましょう。

◎終活セミナー

長寿化・少子高齢化が進む今、生前整理と遺品整理で困らない、実践しやすい片づけ術をお伝えします。終活に抵抗があるけれど片づけたい方、実家の片づけを何処から手をつけていいかわからない方、貴重品やお金の片づけ方、資産を守る方法をお伝えします。

意識啓発講座

◎フラワーアレンジメント講座

毎年大好評で多くの方にご参加いただいている講座です。フラワーアレンジメントを通じて暮らしの中の潤いやゆとりを考えることで、男女共同参画社会の実現を目指します。



◎男性料理講座

毎回定員を上回る大好評の「男の料理塾」。女性からも受講を希望する声上がる人気の講座です。作った料理を食べながら、男同士で語りませんか。



※詳細については、市報ぎょうだやホームページ等でお知らせします。是非、ご参加ください。

女性活躍推進事業を実施しています

◎行田市女性活躍推進ネットワーク会議の開催

女性の活躍を推進する施策について、事業者、学識経験者、行政機関その他関係団体が連携して合理的かつ効果的に実施するため、ネットワーク会議を開催します。

○第1回ネットワーク会議を7月25日(木)に開催しました。

会議の内容：令和元年度女性活躍推進事業計画等について

○第2回ネットワーク会議を10月に、第3回ネットワーク会議を令和2年1月に開催を予定しています。

職場でのハラスメント防止強化

女性活躍・ハラスメント規制法が成立しました

令和元年5月29日に女性活躍・ハラスメント規制法(女性の職業生活における活躍の推進に関する法律等の一部を改正する法律)が成立しました。パワハラ、セクハラ、妊娠出産を巡るハラスメント「行ってはならない」と明記したほか、パワーハラスメント防止対策を法制化、セクシュアルハラスメント等の防止対策の強化等を定めています。



ハラスメントの被害にあった時は

○はっきりと意思を伝えましょう

ハラスメントは、受け流しているだけでは状況は改善されません。「やめてください」「私はイヤです」と、あなたの意思を伝えましょう。我慢したり、無視したりすると事態をさらに悪化させてしまうかもしれません。問題を解決していくことが、悩んでいる他の人を救うことにもつながります。

○相談窓口にご相談ください

ハラスメントは、個人の問題ではなく会社の問題です。会社の人事労務などの相談担当者や信頼できる上司に相談しましょう。行政の窓口に相談する方法もあります。取引先や顧客などからハラスメントを受けた場合も、御自身の勤める会社に相談してください。

ひとりで悩まず、相談してみませんか？

DV、セクハラ、夫婦の問題など、専門の女性相談員があなたの悩みを一緒に考えます。

相談は無料で秘密は固く守られます。ぜひ、お気軽にご相談ください。

【相談日】

面接相談：毎週木曜日 午後1時～4時

毎週土曜日 午後2時～4時

※予約制

電話相談：毎週土曜日 午後1時～2時

※原則、市内在住の方

【予約・問い合わせ】

VIVAぎょうだ ☎556-9301



支配があるかのチェックリスト

「傷ついたあなたへ わたしがわたしを大切にすること
DVトラウマからの回復ワークブック」
レジリエンス刊 梨の木舎より一部抜粋・編集

- の言うことは絶対だ
- の希望を●●に伝えるのはとてもエネルギーがいる
- が帰ってくると緊張する
- を恐れている
- がいる前で電話をしたくない
- を待たせることはできないと思っている
- 自分がどう感じるかよりも●●が怒らないかが基準になっている
- の言動に意見できないと思っている
- たとえ間違っていると思っても、●●に同調しなくてはならない
- に自分の本音は絶対に言えない
- が怒りだすと、なんとかなだめようとしてしまう
- が機嫌が良い状態であるためにはどんなことでもすると思う
- どんなに自分が楽しんでいても●●の機嫌が悪くなるともう楽しむことはできない
- についてうそがばれるのが怖くてしょうがない

出典：レジリエンス
Resilience:2014

くるみん認定・プラチナくるみん認定を取得しませんか？

この制度は、仕事と子育て等の両立を支援するため、短時間勤務やフレックスタイムなど、多様な働き方を実践している企業等を埼玉県が認定するものです。

県は基準を満たす企業等を認定し、働きやすい企業として、ホームページ等で広く紹介していきます。仕事と家庭の両立を支援し、男女がともにいきいきと働ける職場環境づくりに取り組む企業を認定しています。

令和元年6月1日に、多様な働き方実践企業令和元年度第1回認定企業が決まり、行田市では行田商工会議所、有限会社フジヤの2社がシルバー認定を受けました。

認定のメリットは

- 求人面でPRやイメージアップにつながります。
- 研修など企業に役立つ情報をお届けします。
- 県建設工事の入札参加資格の申請(新規・更新)時に加点を受けられます。
- 県制度融資「事業資金・働き方改革企業優遇貸付」を利用できます。

詳しくは、下記の埼玉県のホームページをご覧ください。

<http://www.pref.saitama.lg.jp/womenomics/diversity/application.html>



くるみんとプラチナくるみん認定マーク

行田市男女共同参画推進センター 男女共同参画推進団体登録を募集しています

行田市男女共同参画推進センターを利用しようとする男女共同参画の推進に資するグループ・団体(以下「団体」)で、下記の基準に該当する団体の登録をお待ちしております。

- (1)活動の目的に男女共同参画の推進が含まれていること。
- (2)構成員が5名以上で、構成員名簿があること。
- (3)将来にわたって活動が継続して行われるものと認められるものであること。
- (4)活動の拠点が行田市内にあること。

*登録団体が当センターを使用する場合、使用料の30%を減額します。
*当センター主催の講座等で講師等の協力依頼をすることがあります。
*申請方法・構成員名簿をお持ちになって、男女共同参画推進センターへお越しください。

登録団体の活動風景

▶ 団体登録して活動している一部の団体をご紹介します ▶

【フレッシュモア】

男性5名、女性33名でいい汗を流しています。健康づくりのための知識と地域コミュニティの構築のために月に2回活動しています。



【写壇虹】

男女28名で写真の勉強会をしています。作品作りの学術と技術の向上を目指して活動しています。



【フリージア】

女性16名で月に2~4回、季節の花を使ってアレンジメントしています。親睦を図りながら、技術の習得に頑張っています。



【美味パン】

女性25名がボウル1つで作れる簡単で本格的なパン作りをしています。パン屋さんのような色々な種類の美味しいパンを作っています。



サークル活動、会議・研修などにご利用ください。「VIVAぎょうだ」

- 【開館時間】 午前9時～午後9時30分
- 【休館日】 毎週月曜日(祝日の場合は翌日)
年末年始(12/29~1/3)
※臨時に休館することもあります



料理を作った後も皆でコミュニケーションを図って楽しんでいます。

利用区分	市内料金 (1時間)	市外料金 (1時間)
学習室	550	820
調理室	760	1,140
研修室1	170	250
研修室2	170	250
和室	210	310

*利用申請者の住所(個人にあってはその住所、法人・団体にあってはその所在地)が市外である場合の使用料は、5割増となります。

○予約

利用を開始しようとする日の属する月の3ヶ月前(市外在住の方または市外の法人、その他団体の場合は2ヶ月前)から予約できます。

○申込み

センター事務室に利用申請書を提出し、使用料をお支払いください。



- JR高崎線行田駅下車
市内循環バス(観光拠点コース左回り)教育文化センター前下車
- JR高崎線吹上駅下車
朝日バス佐間経由行田折返し場行き佐間団地下車徒歩3分

令和元年9月発行
発行/行田市
編集/行田市男女共同参画推進センター
VIVAぎょうだ
〒361-0032 行田市佐間3丁目23番6号
【TEL】048-556-9301
【FAX】048-556-9310
【ホームページ】
<http://www.city.gyoda.lg.jp/viva/>
【メールアドレス】
viva@city.gyoda.lg.jp



「今、輝く人」の想いに感動しました。しかし、それを言葉で伝えることはとても難しく苦労しました。市内ですので、是非、出かけてみてください。

安原初美

「今、輝く人」の想いに感動しました。しかし、それを言葉で伝えることはとても難しく苦労しました。市内ですので、是非、出かけてみてください。

森田利恵

令和元年の情報紙。一人ひとりの輝きをお伝えしたくて、話し合いを重ね、発行することができました。

小堺久美子

今回、輝く人シリーズも12号を数えます。色々なジャンルで活躍している方にお会いできる機会に感謝しています。

山崎孝子

編集後記

